



注目ポイント

- ✓先週の日経平均は3週連続で上昇。週末12日には、前日の米株式市場でNYダウが最高値を更新した流れを引き継ぎ、東京市場でも幅広い銘柄に買いが入った。日経平均は一時5万1,000円台に乗せる場面もあった。一方、ドル円はやや円安ドル高となった。9日には、9月の米求人件数が市場予想を上回り、ドル買いが優勢となった。ただ、10日にはFRBが追加利下げを決定。あわせて短期国債の買い入れを決め、米長期金利が低下したため、ドルが売られた。
- ✓今週の注目は、日銀が18～19日に開催する金融政策決定会合。市場では日銀が0.25%の利上げを決めるとの見方が大勢を占めており、注目はターミナルレート（政策金利の最終到達点）とされる中立金利の水準。植田総裁が会見で中立金利の水準の上昇を示唆する可能性はあるものの、市場の想定を上回らなければ、外為市場では材料出尽くし感から円売りドル買い圧力が高まろう。（北田英治）

2025年12月8日 ～ 2025年12月12日

市場・指標			12月8日 ～ 12月12日		12月12日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	51,128	49,926	50,837	+345	+0.7%	
	米国	NYダウ (ドル)	48,887	47,463	48,458	+503	+1.0%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	24,475	23,985	24,186	+158	+0.7%	

市場・指標			12月8日 ～ 12月12日		12月12日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.970	1.915	1.945	-0.005	
	米国	10年 (%)	4.21	4.10	4.18	+0.04	
	ドイツ	10年 (%)	2.90	2.81	2.86	+0.06	

市場・指標			12月8日 ～ 12月12日		12月12日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		156.95	154.90	155.81	+0.48	
	ユーロ (円)		183.16	180.50	182.94	+2.12	
	豪ドル (円)		104.40	102.91	103.66	+0.50	

市場・指標			12月8日 ～ 12月12日		12月12日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リト (ポイント)	1,991	1,945	1,987	+25	+1.3%	
	米国	NY原油 (ドル)	60.30	57.01	57.44	-2.6	-4.4%	
		NY金 (ドル)	4,388	4,198	4,328	+85	+2.0%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年12月15日 ~ 2025年12月19日

株式 もみ合いか

日経平均
【予想レンジ】 49,500 円 ~ 51,000 円

- 先週の日経平均は3週連続の上昇。週の半ばには、材料出尽くし感による売りが優勢となった。しかし週末12日には、前日の米株式市場でNYダウが最高値を更新した流れを引き継ぎ、東京市場でも幅広い銘柄に買いが入った。日経平均は一時5万1,000円台に乗せる場面もあった。
- 今週の日経平均はもみ合いか。注目は日銀が18~19日に開催する金融政策決定会合。市場では政策金利を現行の0.50%程度から0.75%程度に引き上げるとの観測が強く、焦点は来年以降の利上げのペースやターミナルレート（政策金利の最終到達点）となろう。投資家の押し目買い意欲は強いとみられるものの、週内は日本株の積極的な売買を手控える動きが広がりやすいと予想される。



金利(国債) 一進一退の展開か

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.900 % ~ 2.000 %

- 先週の国内金利は概ね横ばい。日銀の会合を翌週に控える中、日銀が今回の会合以降も利上げ路線を維持するとの見方から、8日には10年国債利回りが1.97%と約18年半ぶりの水準に上昇した。しかし11日には20年物国債入札が順調な結果となり、債券の買いが広がった。週末12日には、株高を受けて安全資産とされる債券が売られた。
- 今週の国内金利は、一進一退の展開か。市場では、日銀が18~19日に開く金融政策決定会合で0.25%の利上げを決めるとの見方が大勢を占めている。ただ、日銀が先行きどこまで利上げを続けるかは不透明なことから、会合後の植田総裁の記者会見の内容を見極めたいとして、長期金利は神経質な動きとなろう。



為替(米ドル) 円弱含みでのもみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 154.50 円 ~ 158.00 円

- 先週のドル円は、やや円安ドル高となった。9日には、9月の米求人件数が市場予想を上回り、ドル買いが優勢となった。ただ、10日にはFRBが追加利下げを決定。あわせて短期国債の買い入れを決め、米長期金利が低下したため、ドルが売られた。週末12日には米長期金利の上昇を受けて再び円売りドル買いが優勢となった。
- 今週のドル円は、円弱含みでのもみ合いか。市場では日銀が18~19日に開く金融政策決定会合で0.25%の利上げを決めることをほぼ織り込んでいる。注目はターミナルレート（政策金利の最終到達点）とされる中立金利の水準。植田総裁が会合後の会見で中立金利の水準の上昇を示唆する可能性はあるものの、市場の想定を上回らなければ、材料出尽くし感から円売りドル買い圧力が高まろう。



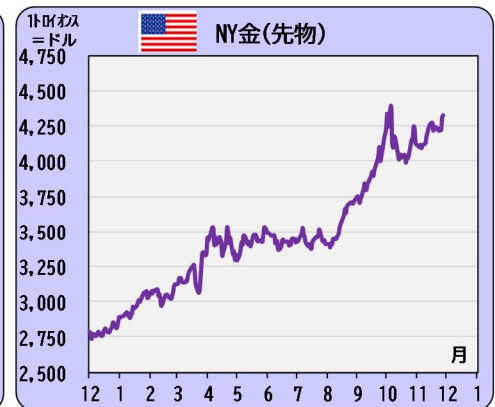
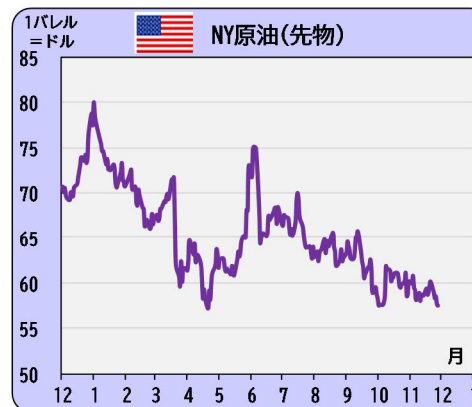
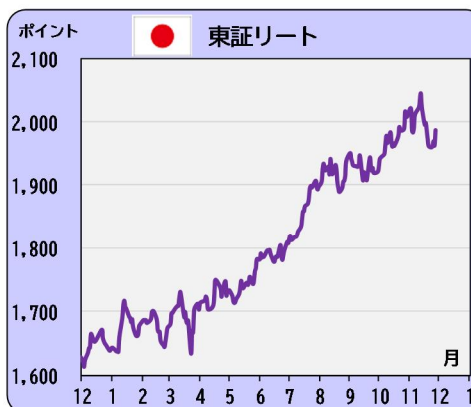
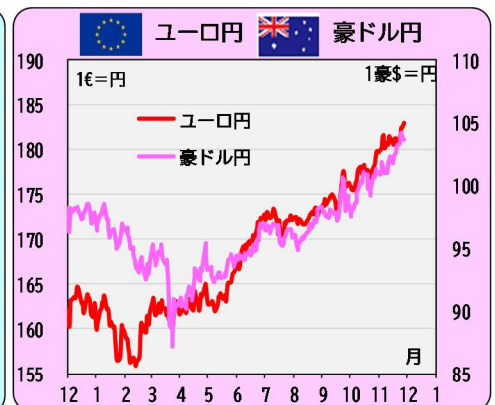
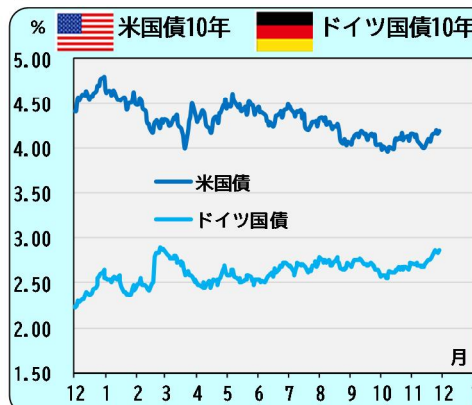
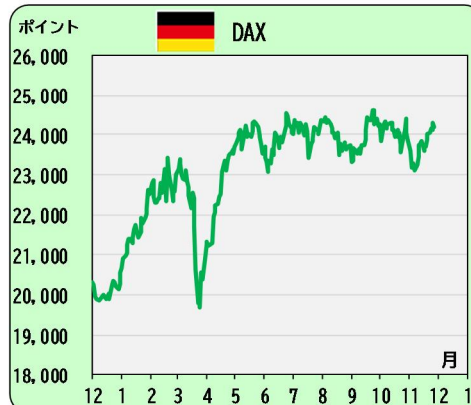
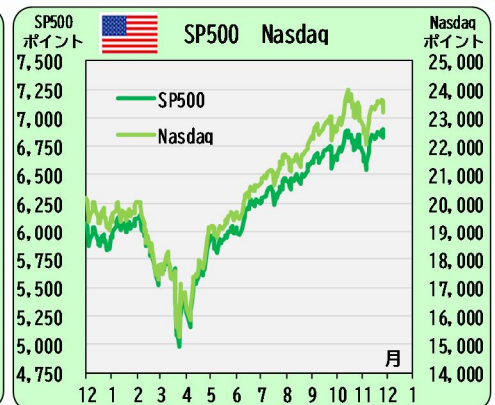
○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
12/15(月)	日銀短観(2025年12月調査) 第3次産業活動指数(10月)	
12/16(火)		米国: 雇用統計(11月) 米国: 小売売上高(10月)
12/17(水)	貿易収支(11月) 機械受注統計(10月)	米国: 国債入札(20年) EU: ECB定例理事会(~18日)
12/18(木)	日銀金融政策決定会合(~19日)	米国: 消費者物価指数(11月) 米国: フィラデルフィア連銀景気指数(12月)
12/19(金)	CPI(11月) 植田日銀総裁会見	米国: 中古住宅販売件数(11月)



③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
ADP	米国の給与計算代行大手会社	FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターミディエート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		

●ご留意事項

- 本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- 本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。